

気象予報士による防災講演会を実施しました（11/12 掲載）

11月6日（金）、気象予報士の菊池真以氏をお招きして防災に関する講演会を実施しました。講演は、「夕方とは何時のこと？」、「雨が降らない晴れのことを何と言う？」などの天気予報クイズから始まり、生徒たちが答えを一生懸命考えていました。次に、注意報や警報、特別警報の意味や気象災害から身を守るための心構えについて学びました。さらに、天気予報の活用法や天気予報ができるまでについて、詳しい説明がありました。

講演後、菊池さんと龍ヶ崎市役所危機管理課から2名をお招きして、本校生徒10名を交えて懇談会を行い、市内の災害の歴史・災害の予見・避難所として学校の果たす機能・災害ボランティアについて議論を深めました。

生徒は、「日本がこんなにも災害についての対策を考えているとは思わなかった。正しい知識・情報を知ることができてよかった。」、「自分の住んでいる場所が浸水地域だということを初めて知った。以前から災害ボランティアに興味があり、機会があれば参加したいと思う。」などの感想を述べていました。



講演会の様子



懇談会では生徒が市の担当者に質問



生徒が質問をしている様子



懇談会参加者全員で記念撮影